

ディスプレイスタンド壁寄せタイプ(KDS-WF50K)取扱説明書

この度は、弊社製品をお買い求め頂きましてありがとうございます。
 ●この説明書は、製品の組立て方、使い方、使用上の注意事項について記載してあります。
 ●ご使用前に必ず、この説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
 ●また製品を末永くご使用頂くために、この説明書は大切に保管して下さい。

組立をはじめる前に

- 組み立てる前に必ず、部品表と組立完成図をご覧になり、内容物をご確認ください。
- 組立作業をする場合は、カーペットの上か、毛布などを敷いた所で床や製品を傷つけないようにご注意ください。

●安全上のご注意

安全にお使い頂くため、必ずお守りください。



警告
この表示欄は「死亡または重傷などを負うことが想定される危害の程度」です。



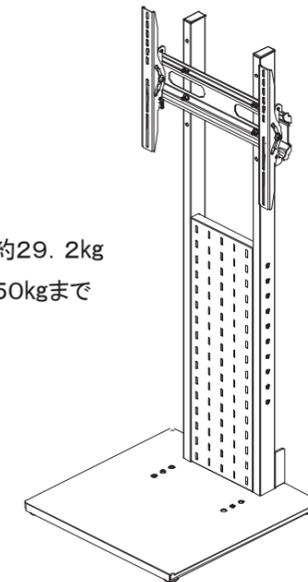
警告
※組立方法はこの説明書に従って施工して下さい。
※組立は、必ず取扱店又は当社に依頼下さい。

【部品表】

品番	品名	数量	外観図	品番	品名	数量	外観図	用途
①	ベースフレーム	1		⑤	六角穴付ボルト M8×20	6		支柱組立用
				⑥	ボルトキャップ	6		
②	支柱フレーム	1		⑦	六角ボルト M8×80	4		ブラケット金具固定用
				⑧	M8ナット	4		
③	ブラケット金具	1		⑨	M8ワッシャー	14		ディスプレイスタンド組立用
				⑩	樹脂スペーサー	4		テレビ取付用
④	アタッチメント(左・右)	各1		⑪	ケーブルクランプ	2		
				⑫	六角レンチ	1		
				⑬	ディスプレイ取付ネジセット	1袋		別紙参照

組立完成図

[製品重量] 約29.2kg
 [静耐荷重] 50kgまで



1 ベースフレームと支柱フレームの組立

②支柱フレーム

①ベースフレーム

支柱背面

⑤六角穴付ボルト M8×20 ×6
⑨M8ワッシャー×6

①ベースフレームと②支柱フレームを固定します。それぞれのネジ穴位置にあわせて⑤六角穴付ボルトM8×20、⑨M8ワッシャーで6カ所を六角レンチを用いて締め付けます。【上図参照】

注意
壁際で使用する場合はベースフレーム後方の穴、壁際で使わない場合は必ずベースフレーム中央の穴を使用します。【下図参照】

●壁際で使用する場合 ●壁際で使わない場合

2 ボルトキャップの取付

⑥ボルトキャップ ×6

ベースフレーム上面の使用していないボルト穴は⑥ボルトキャップで蓋をします。

3 ブラケット金具の組立

③ブラケット金具

⑦六角ボルト M8×80×4
⑧M8ナット ×4
⑨M8ワッシャー ×4

③ブラケット金具を支柱フレーム上部に⑦六角ボルトM8×80、⑨M8ワッシャー、⑧M8ナットを使用して4カ所を締め付けます。

ブラケット金具は3段階の高さ調整が可能です。

4 アタッチメントの取付

④アタッチメント(右)

④アタッチメント(左)

⑬ディスプレイ取付ネジセット×4

※落下防止ネジが外側を向いていることを確認してください。

④アタッチメント左・右各1個(左右対称)を⑬ディスプレイ取付用ネジセットより、設置するネジ寸法にあったものを選定して取付けます。

※ディスプレイの機種によってはアタッチメントとの間に⑩樹脂スペーサーが必要な場合があります。

5 ディスプレイの取付・角度調整

アタッチメントツメ部

警告
角度フリー機構は調整可能です。緩く感じる場合はボルトを締め付けて調整します。

警告
落下防止ネジの締め忘れにご注意ください。

±12.5°

ディスプレイに取付けた④アタッチメントのツメ部分を③ブラケット金具の上部に引掛けます。この時ディスプレイの中心がスタンドの中心になるように位置を調整します。落下防止ネジを確実に締め付けます。最後にディスプレイ本体の角度を調整します。

レベルアジャスターの調整

レベルアジャスター

ディスプレイスタンドを設置する際にがたつきが生じた場合はベースフレーム底面にあるレベルアジャスターを回して調整します。

オプションキャスター(別売)の取付

レベルアジャスター(取り外す)

φ50キャスター【別売オプション】

ベースフレームの底面にあるレベルアジャスターを取出します。取外した箇所に別売オプションのφ50キャスターを締め込んで固定します。

注意
※オプション(別売)のキャスターを使用する際は必ず右図のように中央寄りの6カ所のボルト穴を使用します。後方の穴を使用した場合、転倒する恐れがあります。

安全のために必ず守ること

●この取扱説明書で使用している表示と意味は次のようになっています。



警告

表示の内容を無視して誤った使い方をしたときに
「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容



注意

表示の内容を無視して誤った使い方をしたときに
「傷害を負う可能性または物理的傷害のみが発生する可能性が想定される」内容

●図記号の意味は次のとおりです。



絶対におこなわないでください。



必ず指示に従って、おこなってください。

●ご使用の前に、この欄を必ずお読みになり、正しくお使いください。



警告

●お客様自身で商品の改造は絶対にしないでください。
→変形や破損、転倒などを引き起こす原因になります。

●設置後、移動後は必ずキャスターのストッパーをロック位置にしてください。
→誤った設置や調整は、転倒してけがの原因になります。

●ディスプレイの取付以外のご使用は絶対になさらないでください。



注意

設置するとき

●設置作業は必ず2人以上で行ってください。
→重量物が落下して怪我の原因になります。

●床に傾斜や段差のある不安定な場所には設置しないでください。
→転倒してけがをする恐れがあります。

●屋外での使用や水漏れを避けてください。
→さび・変色の原因となります。

●ボルトやネジ類は所定の場所に確実に締め付けてください。
→ディスプレイが落下してけがの原因になります。

使用するとき

●乱暴な扱いや用途以外のご使用はしないでください。
→けがや故障、破損の原因になります。

●記載されている耐荷重以上は載せないでください。
→商品が破損したり、転倒してけがをする恐れがあります。

●商品の上に足を掛けたり、腰掛けたりしないでください。又、小さいお子様が近くで遊ばないように注意してください→商品が破損したり、転倒してけがをする恐れがあります。

●使用中にネジの緩みによるガタツキが生じた場合は締め直してください。締め直してもガタツキが直らない場合は使用を注視してください。→そのまま使用しますと、変形や転倒を起こす原因になります。

移動させるとき

●商品を移動させるときは、転倒防止のため2名以上で操作してください。
→1名は本体を操作、もう1名は安全確認をした後、移動させてください。

●移動する際に段差のある所や、絨毯などの柔らかい所を通過する場合は十分にご注意ください。
→転倒してけがをする恐れがあります。

アフターサービス

●この取扱説明書には保証書が付属しています。保証期間はご購入日より1年間を保証期間とさせていただきます。保証期間中の修理は以下の保証規定に基づいて修理させていただきます。また保証期間の経過後でも、修理により機能が維持できる場合はご要望により有料にて修理させていただきます。

保証規定

- 保証期間内に取扱説明書にしたがった正常な状態で故障した場合には無料修理をさせていただきます。
- 保証期間内に修理の必要が生じた場合には製品と保証書（取扱説明書）をご確認のうえ、販売店、または弊社修理窓口までご連絡ください。
- 保証期間内でも次の場合は有料修理となります。
 - 保証書にお買い上げ日の年月日、お客様名、お買い上げの販売店名の記入がない場合、及び本書の字句を故意に書き換えた場合。
 - 火災、地震、水害、落雷、その他天変地異による故障及び損傷。
 - 使用の誤り、乱用、改造等による故障及び損傷。
 - その他、弊社の責に帰し得ない事由により生じた故障や損傷。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan

保証書

品名	ディスプレイスタンド	型式	KDS-WF50K
お客様	お名前	様	
	ご住所	〒 -	
	ご連絡先	-	-
販売店	お買い上げ日	年	月 日
	保証期間	お買い上げ日より1年間	
	店名・住所・電話番号		

●この製品を第三者に譲渡する場合は、この説明書も共に譲渡し、よく読んでから使用するようご注意ください。

※改良のため、仕様及び外観は予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

お手入れの仕方

- 通常のお手入れとして、時々乾いた柔らかい布で、から拭きしてください。汚れがついたときは倍に薄めた中性洗剤でふき取り、水拭きした後、乾いた布で、から拭きしてください。ベンジンやシンナー系溶剤で拭いたり、ぬれたまま放置しないでください。サビや変色の原因になります。

裏面もよくお読みください。
組立て方などを記載しております。

KIC 株式会社 ケイアイシー
KIC CORPORATION
〒160-0022 東京都新宿区新宿1-28-11
TEL. 03-3357-4839(代)
<http://kic-corp.co.jp>



取説No.04212